

## 第 2 2 回 広 報 委 員 会

日本商品先物振興協会

日 時 平成19年 2 月 7日 (水) 14:00～

場 所 先物協会 会議室

議 題 1. 来年度における広報事業計画 (案) について  
そ の 他

以 上

## 平成19年度広報事業計画 (案)

勧誘規制の強化、取引員による媒体への広告出稿の制限等、商品取引員が顧客に商品先物取引を紹介する機会が狭められている現状を踏まえ、商品先物市場の利用に係る知識普及のための啓蒙活動を中心とした広報事業を推進する。

事業の推進に当たっては、取引所及び関係団体へ協力を要請し、効率的かつ訴求力の高い啓蒙活動に取り組むこととする。

### 1. 商品先物市場利用知識普及のため啓蒙

#### (1) 個人投資家向けセミナーの開催 (新規)

個人投資家を対象としたセミナーを、取引所・関係団体の協力を求め定期的に開催し、商品先物取引の活用促進、既取引者への情報発信を図る。

#### (2) 投資家誘引のためのサイトの運営 (継続)

株式投資家等投資に関心を持つ人たちに商品先物取引の面白さを伝えるため、前年度に創設した専用サイト「投資家応援ナビ」を継続運営し、適格性のある委託者の育成を図る。

#### (3) 一般投資家向け啓蒙パンフレットの作成・配付 (継続)

一般投資家を対象とした「はじめての商品先物取引」を、所要の改訂を行って増刷し、資料請求者に配付するほか、実費頒布により会員の営業ツールとしての利用に供する。

#### (4) 税制リーフレットの作成・配付 (継続)

商品先物取引の所得に係る税制について解説したリーフレットを増刷し、資料請求者に配付するほか、実費頒布により会員の営業ツールとしての利用に供する。

### 2. 商品先物取引の信頼性確保・認知向上のための啓蒙

#### (1) 一般社会に向けた啓蒙広告の出稿 (継続)

社会に受け入れられる商品先物取引として、法令遵守に係る業界の取組姿勢を表明した広告を、取引所・関係団体の協力を求め、一般紙に反復継続して出稿する。

## (2) 日経フューチャーズレポートによる産業界向け広報（継続）

市場経済下における企業のリスク管理の重要性と商品先物取引の経済的機能についての認識の向上を図り、商品先物市場の積極的利用のメリットについての理解を促進するため、「日経フューチャーズレポート」（編集・発行：㈱日経出版販売）を活用し、産業界ビジネスリーダー・学識者等に配付する。

## (3) 国内実需家による商品先物市場活用の実態の紹介（新規）

実需における国内商品先物市場の活用事例を協会HPにおいて紹介することによって、商品先物取引のヘッジ機能等の経済的役割についての啓蒙を図る。

### 3. 相場情報等の提供

#### (1) CS放送における投資家への情報提供（継続）

日経CNBCの商品先物情報番組「先物ワールド」において、取引所と共同で、投資家に商品先物取引の相場情報等を提供するとともに、協会CMを放映する。

#### (2) 協会ホームページによる価格配信（新規）

各取引所から全商品市場の最新の価格、出来高等の情報を継続的に取得し、協会ホームページにおいて一覧で掲載する。

### 4. 協会ホームページの充実

一般投資家・産業界等広く一般に向けた商品先物取引に関する情報、統計データ、会員専用ページにおける実務上有用な最新資料等のさらなる充実を図るとともに、サーバー容量を拡大し、最新価格情報の提供、国内実需家の商品先物市場利用の実例紹介等を行う。

### 5. 業界内広報（継続）

当協会の活動状況を中心に業界の様々な動きに係る記事を掲載している「先物協会ニュース」の紙面を見直し、継続して発行する。

### 6. リクルートの支援広報（継続）

関東、中部、北陸、関西、西日本の5地区で開催される大学就職部と業界関係者との懇談会への助成を行う。

## 7. 協会事業推進のための支援広報（継続）

制度政策の実現に向けて、関係方面との勉強会・懇親会を開催する。また、一般社会において業界との接点を有する諸機関との良好な関係構築を図るとともに、法に基づく許可を受けた国内公設市場の商品取引員とそれ以外との峻別について理解を求める。